令和5年度 学校自己評価システムシート

日高市立高萩北小学校

 事・笑顔・元気いっぱいの学校

 重点目標
 ~想像力豊かな児童の育成と創造力溢れる学校づくり~ Oかしこく Oあたたかく Oつよく

			学	校	自 己 言	評	価		
年 度 標			令和5年度評価 (令和6年2月5日現在)					学校運営協議会での評価	「学校運営協議会での評価」 を受けて
評価項目	具体的方策	評 価 指 標		の割合 保護者	- 目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策 ・次年度へ継続する課題 ・改善していくための方向性	実施日 令和6年2月29日 学校運営協議会の委員からの 意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に 係る変更点や追加事項等 (<u>※変更点や追加事項等が</u> ない場合は空欄)
組織運営 の充実 (小中一貫の 視点)	・職員会議提案資料に 学校教育目標との関連方 を明記し、一貫した力 向性を持って全ての教 育活動を行う。 ・誰一人見捨てない姿 勢を貫き、いじめを予 防する。	学校教育目標「かしこく・あたたかく・つよく」を目指して 努力している	100	94	・学校教育目標の具現化に向けて、諸会議では毎回熟議がなされている。そのため、教職員一人一人が学校教育目標の理解が深く、意識高く取り組むことができた。 ・定期的ないじめ調査とは別に、日頃から気になることの報告・い路・相談をして、対応に当たって、終もの、早期対応を心がけ、ケース会議を図った。	A	・学校教育目標の更なる実現のために、全教職員が共通認識をもって指導に当たることができるよう、学校の体制をより構固なものへとしていく必要がある。 ・いじめ調査を丁寧に行い、個別対応または教育センター、他機関と連携を図り、より迅速な対応を続けていく。	 ・いじめ問題は大変な課題である。多くの知恵を出し合い、発生を少なくする努力を続ける。 ・いじめと認識される前の嫌がらせ等の対応が難しい。 ・いじめの指導について、学校全体で共通理解のもと、引き続き対応する。 ・いじめの予防、早期発見のためのアンケートや表別ははませば。 	・いじめの予防、早期発見、早期対 応をするために、組織的対応を継続 する。
		いじめの予防や改善に努め、生徒にとって楽しく通える学校 にしている	100	93				面談は続けてほしい。 ・令和7年度小中一貫教育に向けて、小中の交流を積極的に取り組んでほしい。 ・子供たちの心の変化に目を向けて、いじめのない学校、表情豊かで元気な子供たちの姿に期待する。 ・教職員の意識の高さがわかる。いじめの問題に対して、早く芽をつむことが大事である。	・小中一貫教育の実現に向け、連携 の在り方について最終的な確認し、 実現に向けて体制を整える。
基礎学力 の定着	子首を子伝い一つこと て取り入れ、全ての生 徒の学びを保証する。 ・生徒の意識を高め、 自宅学到システムなど を有効活用して学力を	学習内容が身につくよう「わかる授業」をしている	100	91	・学校研究を柱とした「わかる授業」を確実に展開しようと、意識して取り組むことができた。 ・家庭学習については、日頃から主体的・継続的に学ぶ児童の育成に取り組んできた。学習の内容については、検証をする必要がある。	A	・各種調査を分析すると、わずかではあるが、数値が向上している項目がある。特に、非認知能力の部分で向上している学年もある。学校全体で、学力向上が図れるよう、引き続き検証し、学校研究で研究した内容を実践できるよう、さらに研究を続けていく。	・家庭学習の取組は、児童や保護者のやる気もあると思う。 ・学力向上は永遠の課題である。地道に取り組んでいくことが 肝要である。 ・楽しし検索も大切にしてほしい。学習の定着と伸びに繋がっ ているように感じる。 ・学習習慣を身に付けることも大事なので、家庭学習は必要で ある。	・児童が「わかる、楽しい」授業の 展開に加え、「学びたい」授業の展 開ができるよう、学校研究を進めて
		児童に家庭学習の習慣が身につくような指導をしている	95	87				・学校研究により先生方が学び続けるのは素晴らしい。通級指導教室「わかたけ」は、自信につながる学びの根本である。 ・タブレットを使用しての授業は便利であるが、心配な面もある。 ・ター人が有効活用し、学力向上に結ぶことを期待する。 ・基礎学力は、反復学習することで、より記憶に残りやすい。 ・学校、家庭においても意欲を引き出す指導をお願いしたい。	いく。 ・家庭学習の意欲づけ、学習の質に ついても検証していく。
保護者や地域 との連携 (コミュニ ティ・スクー ルの視点)	・教育活動の様子を積 5 極的に発信し、コロナ禍にあって不透明な教育内容を外に開く。・学校への要望や意見に耳を傾け、真摯に対応する。 6	学校だより、小中一貫だよりなどで教育活動を伝えている	100	96	・登下校の見守り隊との情報交換会を数年ぶりに開催することができた。安全指導について、今後も連携を強めていく。 ・学校運営協議会を計画的に実施し、地域連携を進めることができた。	A	・小中一貫教育の開始に向けて、なかよし運動会前や音楽会前の小中連携を 進めていく。また、取り組んだ内容を 積極的に地域へ発信し、開かれた高萩 北小中学校としていく。	・学校だより、ホームページ等で、色々な情報を得ることができている。情報の発信が素晴らしい。 ・保護者や地域住民、学校がそれぞれの教育力を生かすとともに、三者が協力、連携して取り組むことが大切である。・コロナヤインフルエンザへの迅速な対応に感銘を受けた。少しずつ子供たちとの距離を近づけられることに期待する。 ・登下校の見守り隊の方々が、学校のメール配信により今まで以上に連携が取れたことは前進である。 ・運動会では、子供たちが明るく楽しそうに活動していたのが良かった。 ・保護者とのコミュニケーションが取れているかどうか、教員の取組に差があり、クラスの差もある。 ・小中一貫に向けて、教職員と地域全体で情報の共有化をして取り組んでほしい。 ・小中で共同できる行事を模索してほしい。	・開かれた高萩北小学校を目指すため、情報発信を継続していく。
		保護者や地域の期待や要望に耳を傾け、改善しようとしている	95	92					
社会性・ 人間性 の育成	・道徳授業、学級の話 し合い活動の充実を通 して規律ある態度を育 成する。	あいさつ・言葉遣い・決まりを守るなど、規律ある態度の育成をしている	90	89	・児童が中心となって、あいさつ運動を行いている。二か所の昇降口で元気なあいさつをすることがでにた。しかし、児童自ら、積極的いう部分では、課題がある。・感染対策を講じながら運動会、、行事を実施することを実施した、行事もあった。ともができた。	A	・あいさつについては、まだまだ地域としての課題も残るため、懇談会等で保護者へ伝え、協力を仰ぐ。 ・2学期の授業参観、全校遠足は、学校全体の感染状況から中止となったが、保護者は、「子供の成長を行事を通して見たかった」という思いがあったようだ。今後も対応を十分に検討していく。	・あいさつは、よくできていると思う。 ・行事については、保護者の協力を得て、なるべく開催してほしい。 ・おいさつ運動は、社会の情勢が反映しているのか、難しい取り組みである。 ・R 6年度は、PTAでも見守り活動をあいさつ・見守り活動を推進する 予定である。 ・下校途中に「おかえりなさい」と声をかけると、元気な声で「ただいま」と返してくれる子が多い。 ・子供たち主体のあいさつ運動が良い。家庭でもあいさつの重要性を伝えていくべきだ。	・学校、地域、保護者が連携して、 課題に取り組めるようにする。
	・コロナ禍の制限がある中で最大限の成果が期待される行事を考え実施する。	コロナ禍にあっても行事の内容や実施方法を工夫し、心の育 成をしている	100	96				いべっとん。 ・子供たちの安全を第一に考え、行事の中止は止むを得ない。 ・地域、学運路との非有は、今まで以上に発信していただきたい。 ・久しぶりの運動会、学校の創意工夫により元気な子供たちの姿を見るこ とができた。取り組む姿勢が素晴らしかった。 自然体験や地域の行事等に参加し、様々な体験を通して「人間力」の育成に努めてほしい。 ・積極的なあいさつができていない。大人からのあいさつをしっかりやり たい。	・児童の安全を優先しつつ、児童が 豊かな経験を育めるよう、行事の実 施方法や内容について検討する。
安心安全 な教育環境	・地域の組織と連携して計画的に環境整備を進める。	花植プロジェクトなど緑化を行い、潤いのある環境づくりを している	95	93	・日頃から安全点検を行い、管理と 修繕に努めた。 ・清掃については、「黙同流汗」を 掲げて全校で取り組んでいる。 ・健全育成会との緑化活動を通し て、子供たちの学習環境に花のある 場を整えることができた。	A	・学年園の運用に課題がある。計画的に活用し、潤いのある環境づくりを目指す。 ・清掃の仕方について共通理解が図れていない部分があるため、定期的に確認し合う。 ・地域清掃の小中合同実施に向けて、計画的に準備をしていく。	・地域と一緒にいろいろなことが行われており、良好。 ・「黙同流汗」で掃除をする時間が、子供たちにとって 嫌な時間にならないか心配。 ・学校訪問時、校舎内の清掃がよくできている。 ・花植えブロジェクトは続けてほしい。種から育てても よいのではないか。 ・地域清掃は、小中合同で行えるよう、安全面の強化が 必要だ。	・清掃活動や緑化活動の意義を知 り、深い学びと体験ができるように
	・委員会活動、清掃活動を充実し、きれいな学校づくりをする。	清掃活動を充実させ、学校を清潔に保ち、安心して使用でき るようにしている	90	95				・学校から地域への協力依頼も上げてほしい。 ・身の回りの清掃、美しい環境を整え、心豊かに育ってほしい。 ・花を育てること、清掃活動を行うことで、子供と地域のふれあいを深めることができている。 ・児童、教職員、地域の人たちとの関わりの行事で、良好に進んでいる。 上)・「C」変化の兆し(評価結果の全てが4割以上)・	り、休い子のと体験ができるように 指導し、実施していく。